

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会
5GHz 帯無線 LAN 作業班(第4回) 議事概要

- 1 日時
平成 29 年 3 月 21 日(火) 13:30~14:13
- 2 場所
中央合同庁舎第 2 号館 総務省地下 2 階 第 1・2・3 会議室
- 3 出席者(敬称略)
 主 任 : 梅比良 正弘
 主 任 代 理 : 村上 誉
 構 成 員 : 足立 朋子、伊形 仁宏、菅田 明則(代理)、山田 正英(代理)、小山 祐一、金子 富、小出 孝治、齋藤 一、佐藤 常人、城田 雅一、成瀬 廣高、野島 友幸、羽田 利博、市川 武男(代理)、藤沼 広一、立木 将義(代理)、北條 博史、山内 洋
 事務局(総務省): 長嶺室長、馬場課長補佐、柏崎第一マイクロ通信係長
- 4 配布資料
 5GHz 作 4-1 現在までの検討経緯の概要
 5GHz 作 4-2 報告書の骨子案
 5GHz 作 4-3 5150-5250MHz の共用検討結果の修正について
 5GHz 作参 4-1 5GHz 帯無線 LAN 作業班(第 2 回)議事概要
 5GHz 作参 4-2 5GHz 帯無線 LAN 作業班(第 3 回)議事概要(案)【電子メールによる検討】
 5GHz 作参 4-3 5GHz 帯無線 LAN 作業班報告書 目次案
- 5 議事
 (1) 報告書の骨子案について
 事務局から 5GHz 作 4-1 及び 4-2 に基づき説明が行われた。具体的な質疑等は以下のとおり。
 伊形構成員 : 5GHz 作 4-2 の 4 頁について、本作業班では登録局等の制度についても検討を行うのか。
 事務局 : ご指摘の通り、通常、情通審では制度の検討は行わないが、本作業班では、制度面の観点を含めた技術的条件も検討する。
 梅比良主任 : 最終的な制度の検討は電監審で行うという認識でよいか。
 事務局 : そのとおりである。
 山内構成員 : 「WRC-19 おける検討」ではなく「WRC-19 に向けた検討」となっているが、WRC-19 が始まる前に検討を行うのか。
 事務局 : WRC-19 の結果が出る前でも、検討可能な内容は対応できるような書き方にしている。
 梅比良主任 : 結論は WRC-19 の結果も踏まえる必要があるが、以上の方針で委員会に報告してよろしいか。
 全 員 : 異論なし。

(2) 5150～5250MHz の共用検討結果の修正について

市川構成員(代理)から 5GHz 作 4-3 に基づき説明が行われた。

(3) 今後のスケジュールについて

次回の会合の開催等について、以下の通り説明等を行った。

- 事務局 : 次回、作業班第5回は確定ではないが5月の連休前を予定しており、その際に、報告書素案をお示しする。また、WRC-19 等のフォローアップについては、ARIB の開発部会でも対応しているところである。まずは目処が付いている 5.2GHz 帯及び 5.6GHz 帯の検討を先行することを考えている。
- 梅比良主任 : 残りの課題についての審議は、一時中断するのか。
- 事務局 : 検討は継続する。
- 山内構成員 : 5.3GHz 帯の審議再開はいつ頃になるのか。
- 事務局 : 平成 29 年度の技術試験事務の結果を踏まえる必要があるので、再開は早くても平成 30 年度になる予定。
- 梅比良主任 : 周波数ごとに課題はあるが、個別に検討することは難しいので、ある程度の方角性が固まり次第順次再開していくのがよい。
- 事務局 : 検討の進め方については、主任と御相談させていただく。

(閉会)